

平成26年度 市民意識調査の 結果を公表します

市民意識調査とは、北上市の行っている施策について、市民が感じている満足度及び重要度を定期的に把握し、今後の施策の方向性を検討する基礎資料とするとともに、行政評価や事業企画等に活用し、行政サービスの改善につなげることを目的とするものです。2年に一度実施しており、今回で5回目となります。

◎問合せ先 広聴広報課

調査の概要

(1) 調査方法

- ・調査対象 市内に居住する20歳以上の男女1,300名
- ・調査方法 設問法によるアンケート調査(無記名)
- ・調査期間 平成26年8月1日～9月1日

(2) 調査内容

- ・市政に対する総合的な満足度
- ・施策ごとの満足度・重要度
- ・施策の優先度
- ・回答者の属性
- ・施策の成果指標として定点観測する項目(22項目)

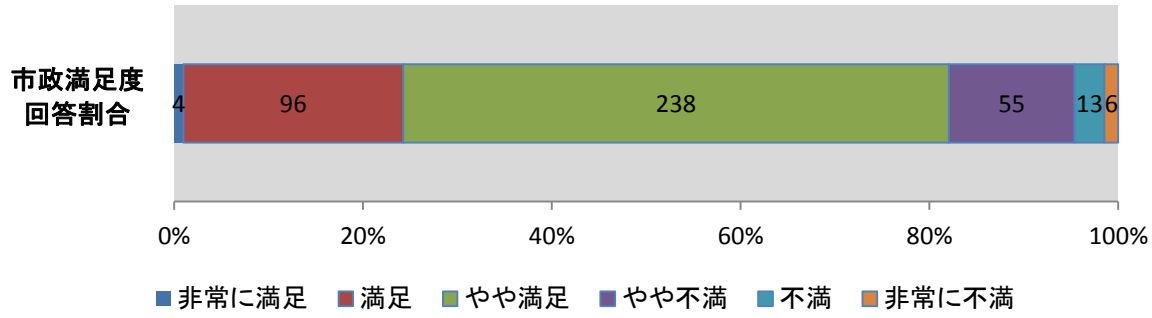
(3) 回収結果

・有効回収率 34.2% (444人)※前回31.2%

1. 市政全般の総合的な満足度

平均市政満足度は、「非常に満足」6点、「満足」5点、「やや満足」4点、「やや不満」3点、「不満」2点、「非常に不満」1点として加重平均を算出。

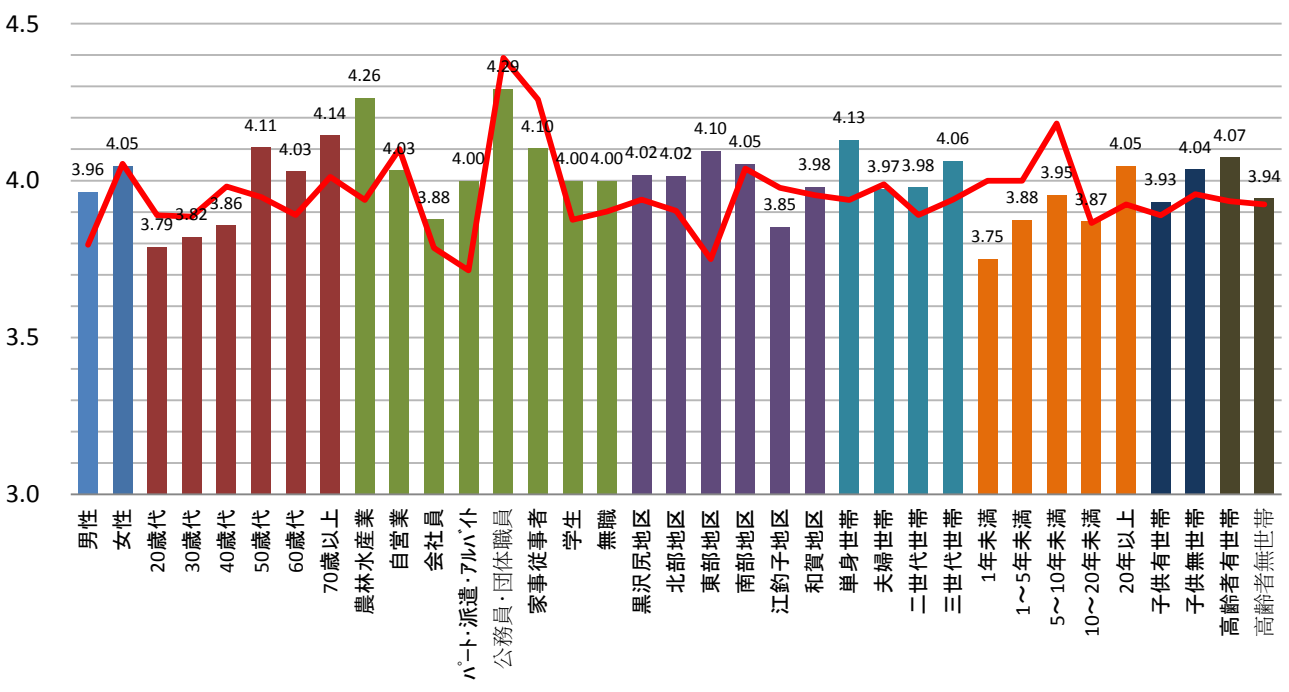
[表1]市政満足度の回答割合と平均値(グラフ内数値は回答者数)



平均
市政満足度
4.01

※前回調査
3.94

[表2]市政満足度の属性別傾向※折れ線は前回(H24)結果

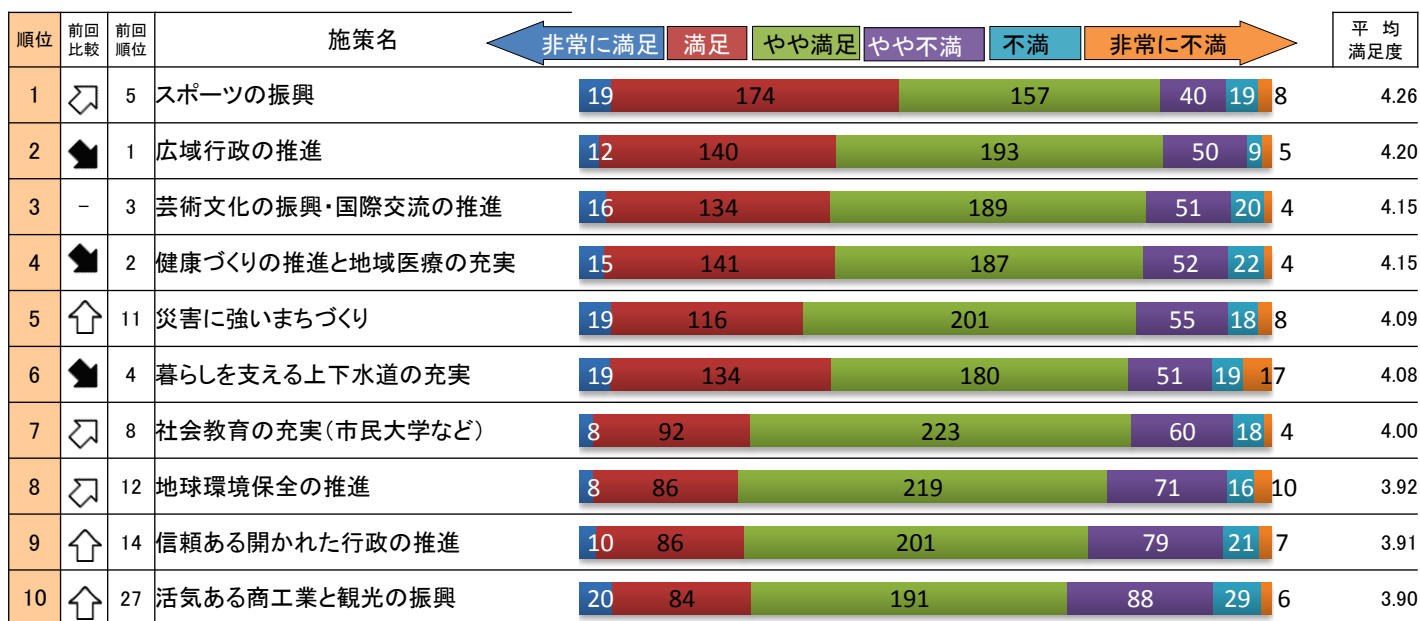


北部地区 : 飯豊・二子
 東部地区 : 更木・黒木・立花・口内・稲瀬
 南部地区 : 相去・鬼柳

<解説> 市政全般の総合的な満足度は前回から0.07ポイント上昇しました。これは平成18年度の第1回調査から一貫して上昇しています。中でも、「農林水産業」「東部地区」「単身世帯」の満足度が上昇しました。

2 施策ごとの満足度（上位10施策）

施策ごとの満足度の回答割合と平均満足度。平均満足度は、「非常に満足」6点、「満足」5点、「やや満足」4点、「やや不満」3点、「不満」2点、「非常に不満」1点として加重平均を算出。（グラフ内数値は、回答者数）



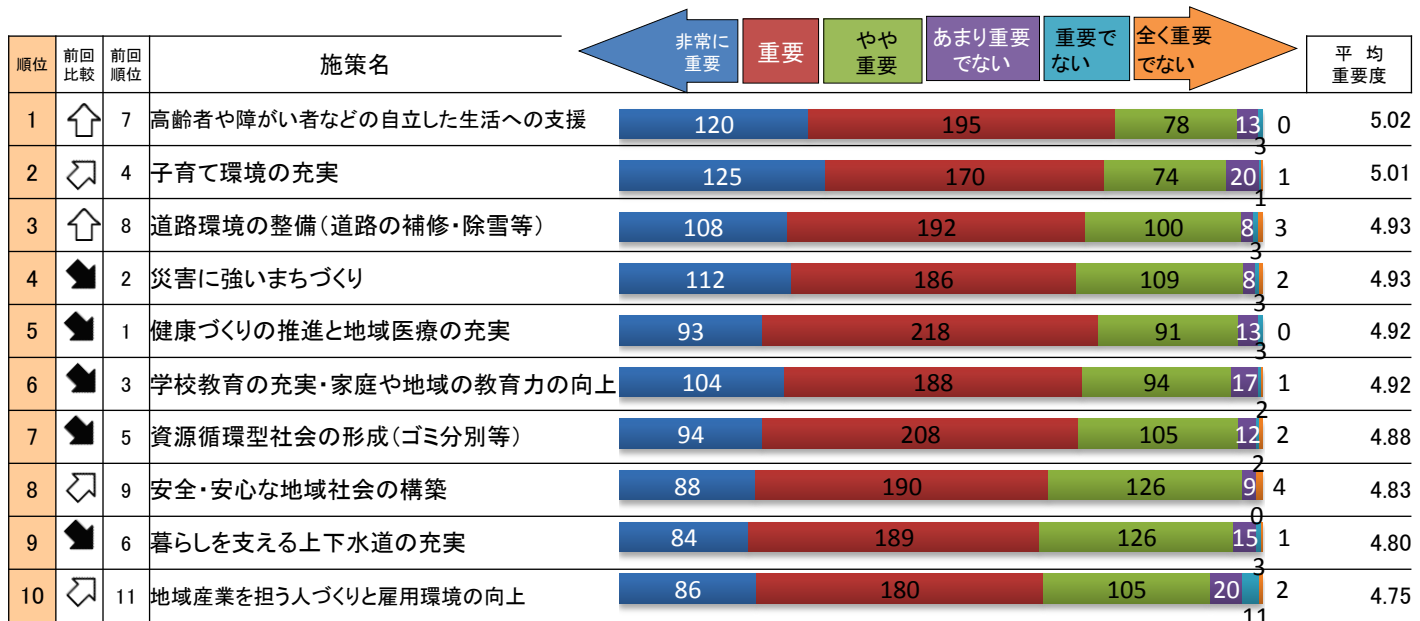
全施策平均満足度3.87
(前回調査3.91)

非常に満足 ■ 満足 ■ やや満足 ■ やや不満 ■ 不満 ■ 非常に不満 ■

<解説> 1位の「スポーツの振興」は前回から大幅に満足度が上昇し、全年代で満足度が高くなっています。今後も施設やイベントの拡充を求める声が多く寄せられました。また、10位の「活気ある商工業と観光の振興」は前回の27位から大きく上昇しました。こちらは企業誘致・観光・商店街に対する意見が多く見られました。

3 施策ごとの重要度（上位10施策）

施策ごとの重要度の回答割合と平均重要度。平均重要度は、「非常に重要」6点、「重要」5点、「やや重要」4点、「あまり重要でない」3点、「重要でない」2点、「全く重要でない」1点として加重平均を算出。（グラフ内数値は回答者数）



全施策平均重要度4.59
(前回調査4.61)

非常に重要 ■ 重要 ■ やや重要 ■ あまり重要でない ■ 重要でない ■ 全く重要でない ■

<解説> 1位の「高齢者や障がい者などの自立した生活への支援」は前回から大きく上昇しました。重要度は全世代で高いのに対し、優先度は年代が上がるほど上昇しています。

4 施策の優先度(上位10施策)

今後優先的に実施していくべき施策として回答された方の割合。回答者自身にとって特に重要で優先的な実施を望む施策を3つ選択していただき、その合計値から算出。「優先度」と「重要度」の性質は似ていますが、「重要度」が普遍的な必要性を示すのに対し、「優先度」は近年の社会情勢に応じた必要性と考えられます。

順位	前回比較	前回順位	施策名	0	5	10	15	20	25	30	35	40	優先度	
1	-	1	子育て環境の充実											38.96%
2	-	2	高齢者や障がい者などの自立した生活への支援											35.83%
3	↔	4	安全・安心な地域社会の構築(防犯・交通安全等)											20.34%
4	↔	5	学校教育の充実・家庭や地域の教育力の向上											19.89%
5	↔	7	健康づくりの推進と地域医療の充実											18.16%
6	▲	5	地域産業を担う人づくりと雇用環境の向上											17.93%
7	↔	8	活気ある商工業と観光の振興											14.60%
8	▼	3	災害に強いまちづくり											13.50%
9	-	9	道路環境の整備(道路の補修・除雪等)											12.75%
10	↔	11	魅力ある農林業の振興											10.95%

<解説>各年代ともに「子育て環境の充実」と「高齢者や障がい者などの自立した生活への支援」の2施策が上位を占めています。特に「高齢者や障がい者などの自立した生活への支援」は前回から4.47ポイントと大きく上昇しました。また、8位の「災害に強いまちづくり」は前回調査から5.76ポイント下落しました。

5 施策の改善需要度(上位10施策)

改善需要度とは、施策ごとに平均重要度の値から平均満足度の値を差し引いて算出します。この値が大きいほど、重要度の高さに対して満足度が低い施策と考えられ、満足度を向上させるための改善が必要となります。

順位	前回比較	前回順位	施策名	0.00	0.50	1.00	1.50	改善需要度
1	-	1	道路環境の整備(道路の補修・除雪等)					1.31
2	↔	5	高齢者や障がい者などの自立した生活への支援					1.22
3	▲	2	子育て環境の充実					1.21
4	↔	6	学校教育の充実・家庭や地域の教育力の向上					1.08
5	↑	11	みんなで支える公共交通体系の構築					1.06
6	▲	3	資源循環型社会の形成(ゴミ分別等)					1.01
7	↔	8	安全・安心な地域社会の構築(防犯・交通安全)					0.95
8	▲	7	地域産業を担う人づくりと雇用環境の向上					0.92
9	↑	14	効果的な行政運営と強固な財政基盤の構築					0.90
10	▼	1	道路交通ネットワークの充実(道路の建設等)					0.88

<解説>今回から道路の分野を、道路の補修や除雪などの分野である「道路環境の整備」と新しい道路の建設などの分野である「道路交通ネットワークの充実」の2つに分けた結果、「道路環境の整備(補修・除雪等)」の重要度は上昇(8位→3位)しましたが、「道路交通ネットワークの充実(新しい道路の建設等)」の重要度は、下落(8位→13位)し、結果として改善需要度においても大きく差が開きました。また、自由記述で最も多い意見は除雪の改善を求めるものでした。

6. 年代ごとの改善需要度及び優先度 ※カッコ内は回答者数

年代	順位	改善需要度が最も高かったもの	順位	優先度が最も高かったもの
20代 (19)	1	子育て環境の充実	1	子育て環境の充実
	2	資源循環型社会の形成	1	活気ある商工業と観光の振興
30代 (53)	1	子育て環境の充実	1	子育て環境の充実
	2	資源循環型社会の形成	2	高齢者や障がい者などの自立した生活への支援
40代 (64)	1	子育て環境の充実	1	子育て環境の充実
	2	道路環境の整備	2	高齢者や障がい者などの自立した生活への支援
50代 (72)	1	高齢者や障がい者などの自立した生活への支援	1	子育て環境の充実
	2	子育て環境の充実	2	高齢者や障がい者などの自立した生活への支援
60代 (106)	1	道路環境の整備	1	高齢者や障がい者などの自立した生活への支援
	2	高齢者や障がい者などの自立した生活への支援	2	子育て環境の充実
70代 以上 (124)	1	みんなで支える公共交通体系の構築	1	高齢者や障がい者などの自立した生活への支援
	2	道路環境の整備	2	安全・安心な地域社会の構築

<解説> 優先度を見ると、20～50代は「子育て環境の充実」が1位ですが、年代が上がるごとに下落し、60代より上の世代では「高齢者や障がい者などの自立した生活への支援」が上回るという結果となりました。なお、ごみ手数料料化、不法投棄、リサイクルの推進などに関する「資源循環型社会の形成」は、各年代ともに重要度は高いですが、満足度は年代とともに上昇するため、その差である改善需要度は20～30代で最も大きい結果となりました。

7. 地域ごとの改善需要度及び優先度 ※カッコ内は回答者数

地域	順位	改善需要度が最も高かったもの	順位	優先度が最も高かったもの
黒沢尻 (162)	1	道路環境の整備	1	子育て環境の充実
	2	高齢者や障がい者などの自立した生活への支援	2	高齢者や障がい者などの自立した生活への支援
北部 (76)	1	子育て環境の充実	1	子育て環境の充実
	2	学校教育の充実・家庭や地域の教育力の向上	2	高齢者や障がい者などの自立した生活への支援
東部 (44)	1	みんなで支える公共交通体系の構築	1	高齢者や障がい者などの自立した生活への支援
	2	道路環境の整備	2	子育て環境の充実
南部 (62)	1	高齢者や障がい者などの自立した生活への支援	1	高齢者や障がい者などの自立した生活への支援
	2	道路環境の整備	2	子育て環境の充実
江釣子 (39)	1	道路環境の整備	1	子育て環境の充実
	2	効果的な行政運営と強固な財政基盤の構築	2	高齢者や障がい者などの自立した生活への支援
和賀 (51)	1	道路環境の整備	1	高齢者や障がい者などの自立した生活への支援
	2	子育て環境の充実	2	子育て環境の充実

<解説> 優先度の高い施策は年代ごとの結果と変わりませんが、改善需要度ではどの地域も道路の補修や除雪などに関する「道路環境の整備」が上位となっており、特に江釣子地区、和賀地区で高くなっています。また東部(更木・黒岩・立花・口内・稲瀬)では「みんなで支える公共交通体系の構築」が1位となっています。おおむね、どの地域・年代ともに市に対するニーズは共通する部分が多くなっています。

8. 今後の活用について

市では新年度予算編成における重点化施策等を検討する際に、市民意識調査結果、「きたかみ未来創造会議」及び「北上市基本構想等審議会」等の意見も踏まえて、決定しています。

今後も、総合計画後期基本計画や新規施策等の検討にあたり、市民意識調査結果をはじめ、市民の皆さんのご意見を参考にして決定することとしています。

調査票及び調査結果など詳しくは市のホームページをご覧ください。また、市内各地区交流センターでも調査結果報告書をご覧ください。